

# 2021事業計画とエネルギートランジション

常務執行役員

CSO 兼 成長推進室長

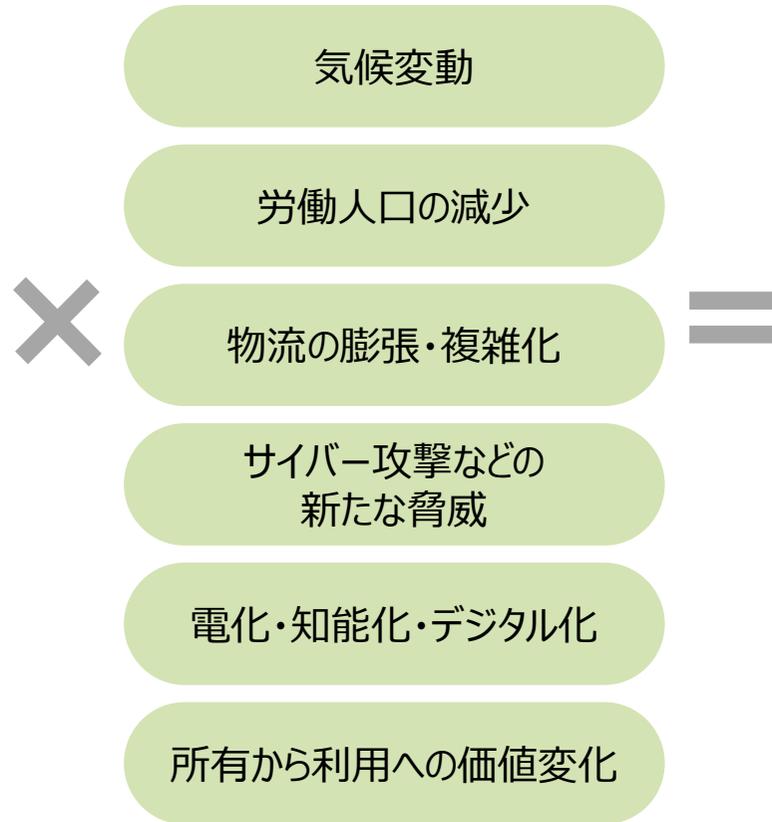
加口 仁

長い歴史の中で培われた技術に最先端の知見を取り入れ、  
変化する社会課題の解決に挑み、人々の豊かな暮らしを実現する

## 当社グループの強み

- 社会を支えるインフラシステム
- 陸・海・空で国の安全保障を支える製品
- 宇宙・深海など未知の世界を開拓する製品
- 高性能・高信頼性
  - 高温・高速・高圧
  - 巨大・複雑な構造体
  - 大規模システムの最適制御

## 社会課題・トレンド

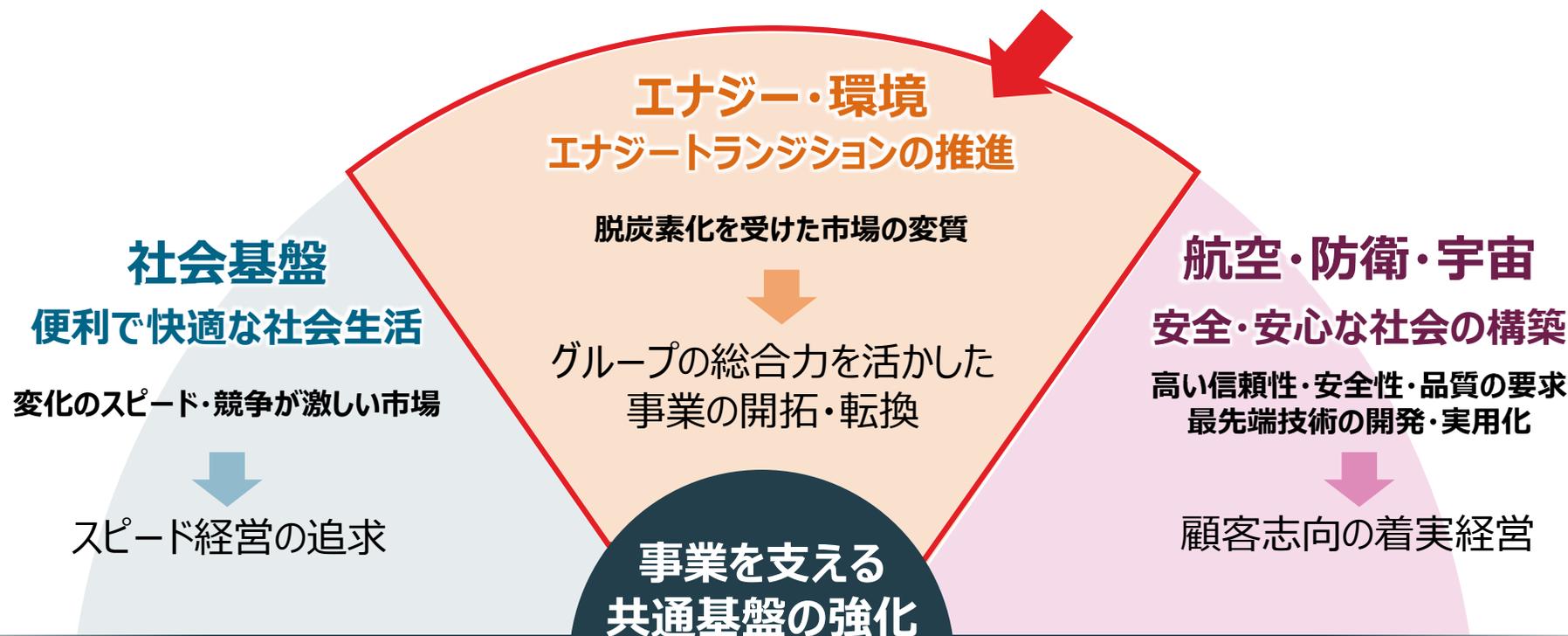


## 当社グループの 取り組む重点テーマ

- **グリーン社会の実現**
  - 既存インフラの高効率化
  - 燃料の脱炭素化・多様化
  - CO<sub>2</sub>回収・転換利用
  - 自然冷媒による空調・冷凍
- **便利で快適な社会生活**
  - 機械システムの知能化・ネットワーク化
  - 物流の自動化
  - モビリティ/インダストリーの電化・知能化
- **安全・安心な社会の構築**
  - 統合防衛
  - サイバーセキュリティ

# 共通基盤と各事業領域での取り組み

- 当社グループは、幅広い事業活動で培われた技術・知見・人材を集約・蓄積
- 各事業領域は、共通基盤の強みを活かして、それぞれの事業環境に応じた経営で伸長を図る



## ①グループ経営の高度化

- ミッション・ビジョン・バリュー
- 責任・権限と組織設計

## ②技術基盤

- 技術・ノウハウの集約・発展
- デジタイゼーションの推進

## ③人材基盤

- ダイバーシティの推進
- 人材リソースの流動化

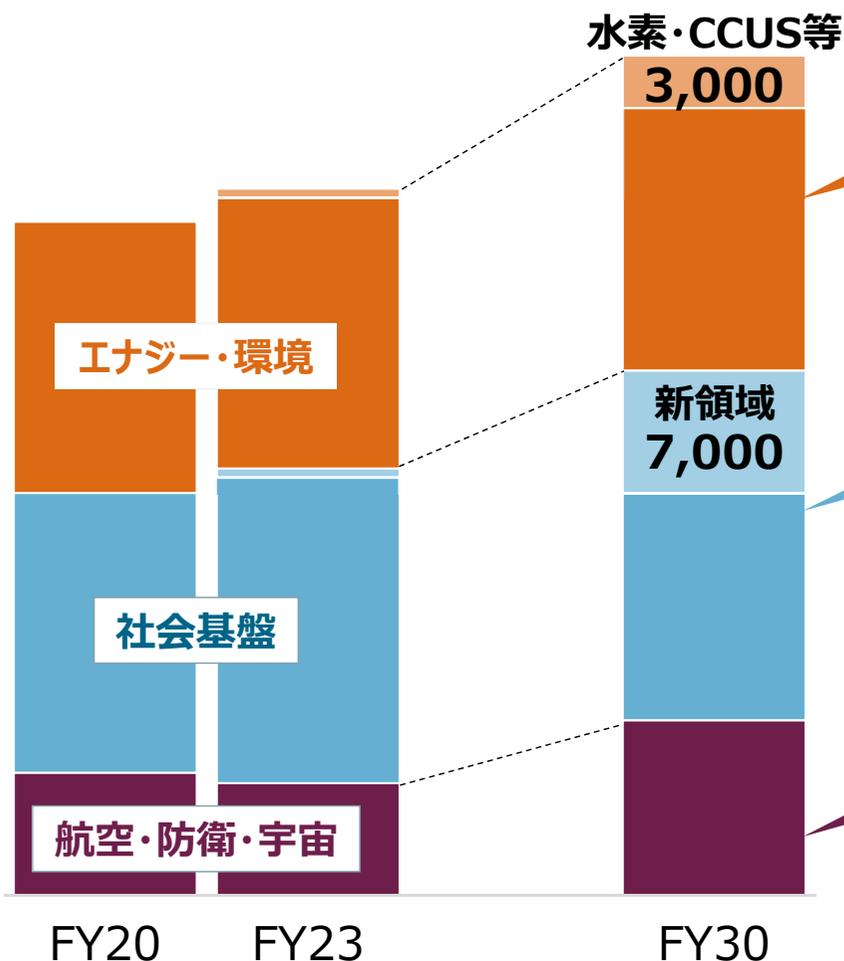
## ④財務基盤

- リソース再配分の促進
- 財務健全性の維持・向上

企業風土・カルチャー

「エナジートランジション」と「モビリティ等の新領域」を成長エンジンとして、事業ポートフォリオを入れ替えつつ、企業価値の大幅向上を実現する

## 事業領域と規模（億円）



### エネルギー・環境

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、組織を横断したグループ内外の連携により、エナジートランジションを促進

### 社会基盤

既存分野の強みと機械システムの知能化により、物流・CASE・コールドチェーン・電化コンポーネントなど、成長性の高いモビリティ等の領域で事業拡大

### 航空・防衛・宇宙

航空・宇宙 - 事業領域の拡大  
防衛 - 陸・海・空 + 宇宙の統合防衛、省人化・無人化・サイバーセキュリティへの取り組み

CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage

CASE: Connected, Autonomous, Shared and Electric

## FY2023目標

### 収益性

事業利益率 7%  
ROE 12%

### 成長性

成長領域への投資を強化  
18事計期間：800億円から  
21事計期間：1,800億円へ

FY23に売上1,000億円規模の新事業創出  
→ FY30に売上1兆円規模へ

	エナジートランジション 新領域	モビリティ等 新領域	合計
21事計での投資	900	900	1,800
FY23売上	500	500	1,000
FY30売上	3,000	7,000	10,000

# この後の説明内容

## ■ エナジートランジション

- エナジートランジション～三菱重工グループの新たな挑戦～  
：エナジードメインCEO 細見健太郎
- 脱炭素に向けた原子力事業の取組み  
：原子力セグメント長 加藤顕彦

## ■ エナジートランジションを支える共通基盤

- 基盤技術：CTO 伊藤栄作
- 財務基盤：CFO 小澤壽人

**MOVE THE WORLD FORWARD**

**MITSUBISHI  
HEAVY  
INDUSTRIES  
GROUP**